

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	からふるtoys		
○保護者評価実施期間	2025年1月4日		2025年1月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	55名	(回答者数) 35名
○従業者評価実施期間	2024年12月15日		2025年1月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 15名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月1日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・スタジオの構造化 <集団療育>	・どこに何があるか、何をやる場所なのかを視覚的に分かりやすくしている。 ・来所→手洗い→学習→大部屋と、お子様の移動の導線が作られている。	・人数に応じて、部屋の用途を変更していく。 ・視覚補助を簡素化し、より分かりやすいものに変更していく。
2	・様々な療育プログラムの提供 <個別療育>	・心理プログラムやソーシャルスキルトレーニングの実施。 ・サッカー教室の開催。 ・学習支援やコミュニケーションスキル支援の実施。	・モートプログラムの実施。 ・アセスメントツールの強化。アセスメントをより具体的にを行う。 ・スタッフの長所を活かすプログラムの提供。
3	・集団、個別の両方の療育形態を提供することができる	・1階2階での運営により、お子様に必要な療育形態を検討し、保護者様へ提示することができる。 ・併用していただいているお子様の情報を全スタッフが共有することができる、より多角的な支援が可能となっている。 ・1階集団療育に関しては送迎を行っているため、保護者様のレスパイトにも繋がっている。	・さらなる情報共有の徹底。 ・集団だからできること、個別だからできることを明確にし、実施をしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・スタジオでの様子が、保護者様に伝わりづらい <集団療育>	・送迎を行っているため、保護者様がスタジオに来所する機会が少ない。 ・イメージしやすいフィードバックができていない。	・保護者様への伝え方を検討する。 ・療育中の動画や写真を見せる等、具体的な提示ができるように工夫する。
2	・療育に関する専門的な知識の向上 <個別療育>	・研修内容がまだ不十分である。 ・到達してほしい具体的な目標を提示することができていない。 ・研修時間の確保が難しい。	・研修内容の強化。 ・スキルや知識をどこまでつけてほしいかを具体的に提示し、該当スキルを獲得できる環境を作る。
3	・最終的な到達目標に関してズレが生じることがある	・提供記録の記載内容不足。 ・計画作成後の共有が不十分。 ・全体での共有不足。	・情報共有シートの活用。出勤時に必ず情報共有シートを確認することを徹底する。 ・提供記録に関して、客観的データをより具体的に記載する。 ・1階2階問わず、全体でお子様を成長させていくという意識を強く持つこと。そして、全体での共有をより強化すること。